



平成 28 年 10 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社麒麟堂ホールディングス
 代表者名 代表取締役 寺 西 豊 彦
 社長執行役員
 (コード番号 3194 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 小 林 剛 久
 経営企画部長
 (TEL. 06-6394-0100 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 4 月 14 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 2 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 4 月 14 日)	百万円 59,500	百万円 1,090	百万円 1,350	百万円 460	円 銭 40.60
今回修正予想 (B)	57,773	460	751	121	10.74
増 減 額 (B-A)	△1,726	△629	△598	△338	
増 減 率 (%)	△2.9	△57.8	△44.3	△73.5	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 2 月期第 2 四半期)	56,327	975	1,232	431	38.12

2. 平成 29 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 28 年 4 月 14 日)	百万円 120,400	百万円 2,470	百万円 3,000	百万円 1,070	円 銭 94.43
今回修正予想 (B)	115,800	930	1,420	220	19.42
増 減 額 (B-A)	△4,600	△1,540	△1,580	△850	
増 減 率 (%)	△3.8	△62.3	△52.7	△79.4	
(参考) 前期連結実績 (平成 28 年 2 月期)	112,902	1,699	2,320	826	72.94

3. 修正理由

(1) 平成 29 年 2 月期第 2 四半期（累計）の連結業績予想の修正

現在、当社グループは「地域コミュニティの中核となるドラッグストアチェーン」を社会的インフラとして確立するため、日常生活における利便性の提供と未病対策・セルフメディケーションの支援のほか、かかりつけ薬局の推進に努めるなど、顧客第一主義の店づくりを推し進めております。

当第 2 四半期（累計）におきましては、当社グループの中核企業である株式会社キリン堂が、既存店活性化対策として、顧客化の推進、集客を目的とした食品（特に、冷凍食品、日配品）の売場改装を実施したほか、ヘルス&ビューティケア商品のカウンセリング販売、PB商品の積極的な展開と販売強化などに努めてまいりました。

結果、新店の売上高は期初計画を上回り順調に推移した一方、既存店におきましては、雑貨等による集客は進んだものの、天候不順等の影響により相対的に粗利率の高い春・夏の季節商材の販売が伸び悩んだため、ヘルス&ビューティケア商品の売上が振るいませんでした。また、期中における中国越境ECを取り巻く環境の変化（中国越境ECにかかる税制変更や保税区分活用の制限）による落ち込みにより、当第 2 四半期（累計）の海外通販売上高は期初計画差 466 百万円減の 224 百万円となる見通しであります。さらに、薬価・調剤報酬改定の影響から、当第 2 四半期（累計）の調剤売上高は期初計画差 249 百万円減の 5,144 百万円となる見通しであります。

以上により、当第 2 四半期（累計）連結業績は、上記「1. 平成 29 年 2 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正」のとおり、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益いずれも前回発表予想を下回る見通しとなりました。

(2) 平成 29 年 2 月期連結業績予想の修正

下期予想の前提として、前期急速に売上高を伸ばした中国越境ECの成長を期待し、下期の海外通販売上高は期初 2,310 百万円を見込んでおりましたが、期中における環境の変化（中国越境ECにかかる税制変更や保税区分活用の制限）による落ち込みが想定以上であることから、期初計画差 2,040 百万円減の 270 百万円に減額修正いたしました。さらに、調剤の診療報酬改定の影響やC型肝炎治療薬の患者数の減少による落ち込みも大きいことから、下期の調剤売上高は期初 5,580 百万円を見込んでおりましたが、期初計画差 678 百万円の減額修正を行いました。

また、利益に関しましては、中国越境EC及び調剤の売上高の減額修正に伴い、売上総利益も減額修正を行いました。

以上により、通期見通しにつきましては、当第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正に加え、下期見通しを反映し、上記「2. 平成 29 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正」のとおり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益いずれも前回予想を変更いたします。

- (注) 1. 当社（連結）は、平成 28 年 10 月 7 日に平成 29 年 2 月期第 2 四半期決算短信（連結）発表を予定しており、詳細につきましては、決算発表にてご報告させていただきます。
2. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上